

なぜ、改革か



第1章 部活動とは

第2章 部活動の問題点

第3章 部活動改革への思い

第4章 改革へのスケジュール

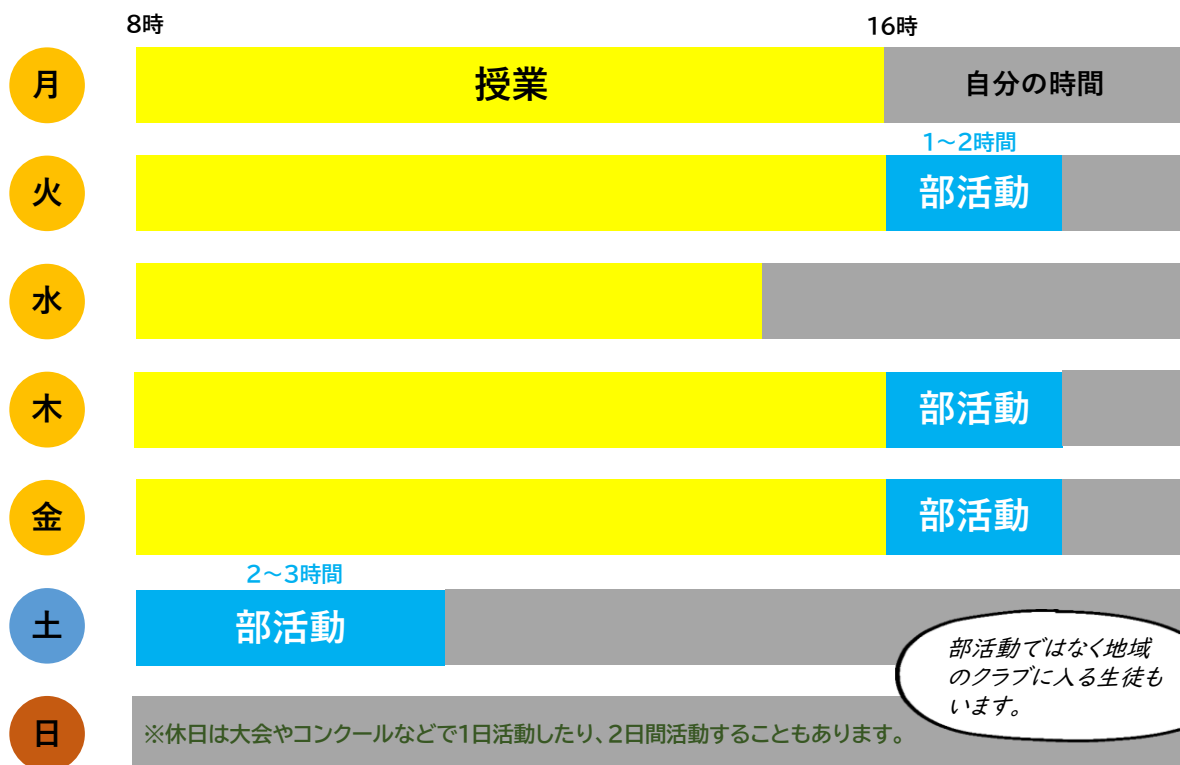
部活動とは

Sports & Culture Club

中学校に入学すると部活動が始まります。小学校のクラブ活動とのちがいは次の3つです。

- 1 かならず入る必要はない(自由加入制)
- 2 放課後や休日に活動する
- 3 クラブ活動に比べて活動時間が長い

掛川市立中学生の1週間



部活動ではなく地域のクラブに入る生徒もいます。



選択肢

多様性

- 学校によって選べる種目の数が異なる
- 希望の種目が部活動にない場合もある
- 人気があっても新しい種目は増えない
- 週1~2回の気軽に参加できる活動がない

掛川市立中学校の部活動一覧

	原野谷	桜が丘	西	東	栄川	北	城東	大浜	大須賀
運動系	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球
		サッカー	サッカー	サッカー		サッカー			
	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール					ソフトボール
	男子ソフトテニス	男子ソフトテニス	男子ソフトテニス	男子ソフトテニス		男子ソフトテニス	男子ソフトテニス	男子ソフトテニス	
	女子ソフトテニス	女子ソフトテニス	女子ソフトテニス	女子ソフトテニス		女子ソフトテニス	女子ソフトテニス		女子ソフトテニス
			男子バレーボール	男子バレーボール		男子バレーボール		男子バレーボール	
	女子バレーボール	女子バレーボール	女子バレーボール	女子バレーボール	女子バレーボール	女子バレーボール	女子バレーボール	女子バレーボール	女子バレーボール
	男子バスケットボール	男子バスケットボール	男子バスケットボール	男子バスケットボール		男子バスケットボール	男子バスケットボール	男子バスケットボール	男子バスケットボール
			女子バスケットボール	女子バスケットボール		女子バスケットボール		女子バスケットボール	女子バスケットボール
		男子卓球	男子卓球	男子卓球	男子卓球	男子卓球	男子卓球	男子卓球	男子卓球
		女子卓球	女子卓球	女子卓球	女子卓球	女子卓球	女子卓球	女子卓球	
			陸上競技	陸上競技	陸上競技	陸上競技			陸上競技
			水泳	水泳					
								剣道	剣道
	文化系	美術	美術	美術	美術(共同創作)		美術(アート)		美術
					文化(総合文化)				文化
		吹奏楽	吹奏楽	吹奏楽		吹奏楽	吹奏楽	吹奏楽	
		パソコン				パソコン			

生徒数によって部活動の種目数が変わります。

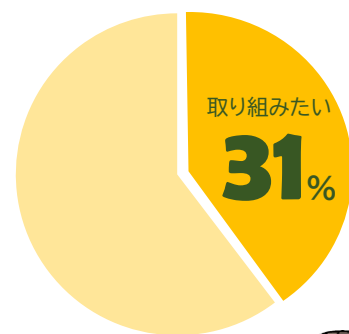


令和4年度 小学生ニーズ調査

Q:どの種目に取り組みたい？

- 1位 サッカー
- 2位 バドミントン
- 3位 ダンス
- 4位 バスケットボール
- 5位 軟式野球
- 6位 バレーボール
- 7位 パソコン(プログラミング)
- 8位 水泳

Q:2種目以上に取り組みたい？



少子化

働き方

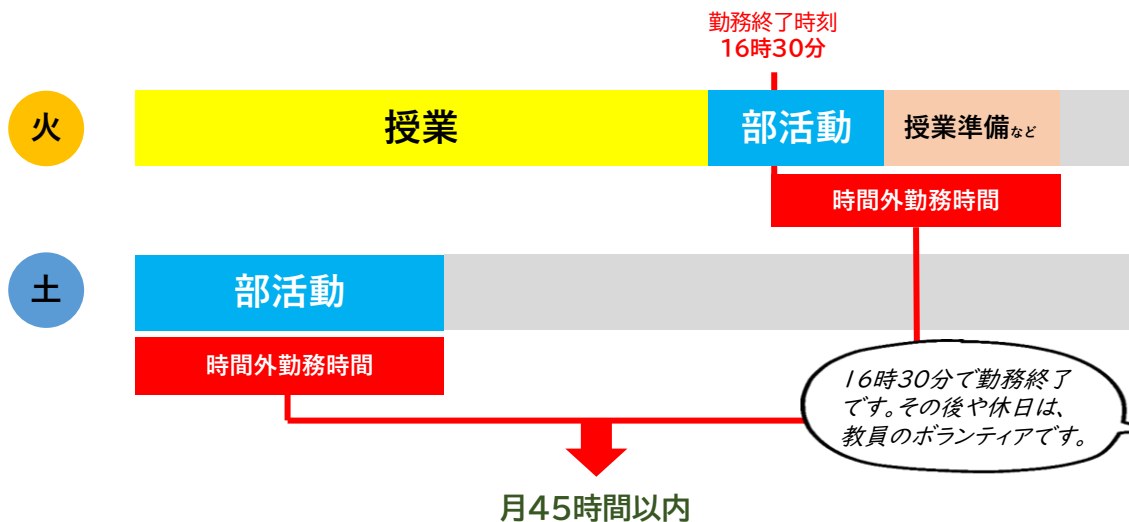
- 今後10年で5割近く減少する地区も
- 教員の勤務時間外の指導で支えている部活動
- 複数の部活動が廃部になる可能性
- 上限設定される教員の時間外勤務時間

今後10年間の生徒数の推移



令和4年5月の子どもの数をもとに作成

教員の時間外勤務時間の上限



部活動改革への思い

Vision

Point

1

学区に関わらず、やりたいことにチャレンジできるようにしたい

Point

2

新種目や気軽な活動など、ニーズに合わせた形を創りたい

Point

3

誰もが無理せず維持できる持続可能な文化・スポーツ環境に変えたい

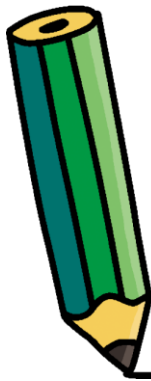
少子化...

働き方改革...

多様化...

これまでの部活動の形では、実現できない

掛川市が2年間の研究で考えた方向性



従来の学校部活動は廃止

×

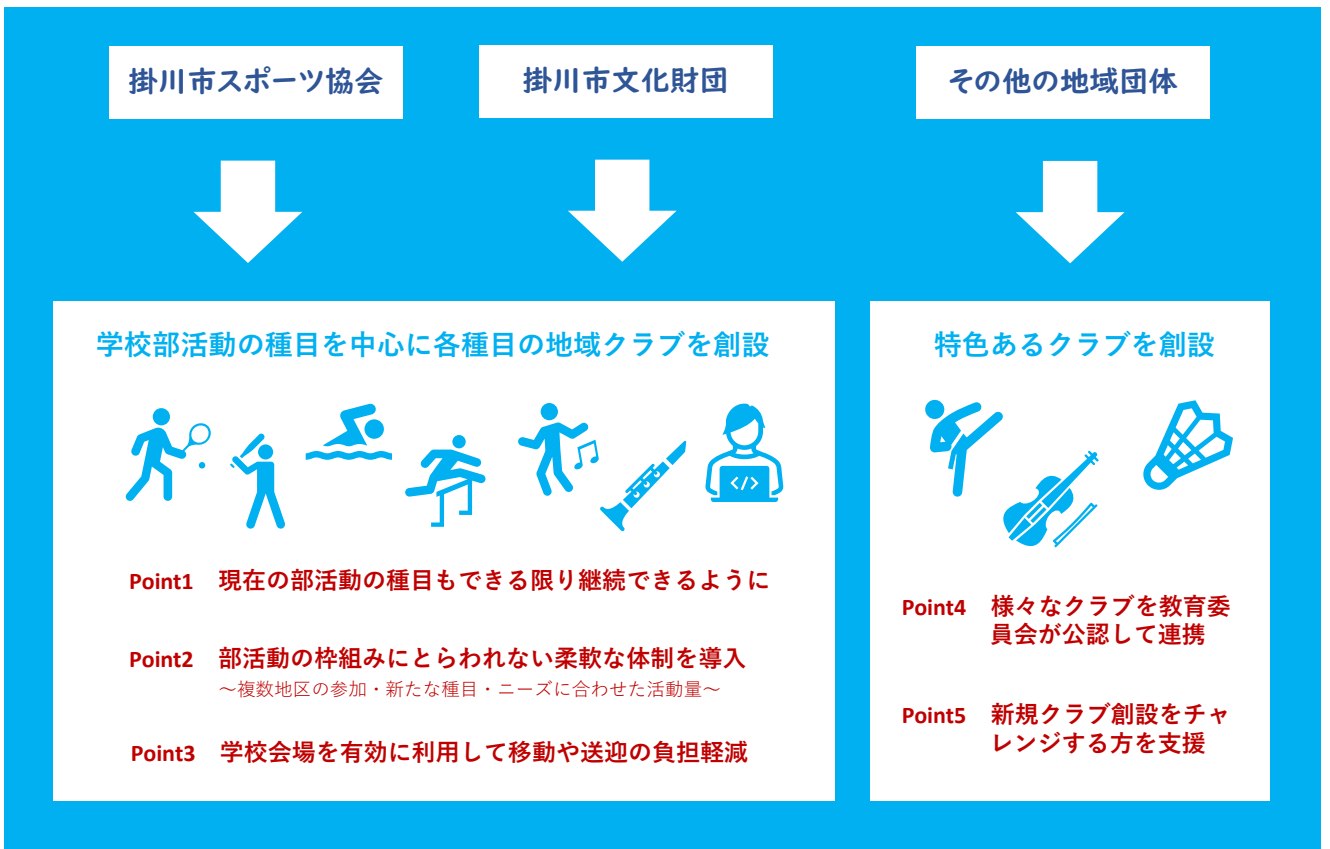
新しい活動を創る

誰もがチャレンジしたいことにチャレンジできるように

この先の未来でも、みんなが無理せず続けられるように

中学3年間だけでなく、生涯にわたって親しむことができるように

様々な地域団体が運営する ” かけがわ地域クラブ ” へ



学校部活動

かけがわ地域クラブ

	活動場所	学校の施設	学校の施設 市内体育施設、文化施設
	活動日数	週3～4日	週1～4日 種目によって柔軟に設定
	参加者	その中学校の生徒	参加範囲を柔軟に設定 1校、複数校、多世代・・・
	指導者	学校の教員	地域指導者 指導を希望する教員も

かけがわ地域クラブは会費制とすることを考えています

Q なぜ、部活動は少ない費用負担で実施できていたのか？

A 教員がプライベートな時間を削り、わずかな手当で支えてきていたからです

勤務終了時刻以降 (16時30分)	無報酬
休日3時間以上	2,700円 (定額)

年間150日、350時間以上の指導時間として

1時間あたりの手当は約300円という計算です

ユニフォームや審判着を買って…

県内各地の試合会場に自家用車で移動して…

すべては子どもたちの笑顔のためです。たとえ未経験の種目でも、一生懸命に勉強して指導に携わってくださっています。



Q かけがわ地域クラブに必要な経費とは？

A クラブを運営する人、指導をする人を支えなければいけません

運営する人



- ・募集案内作成
- ・生徒募集、名簿作成
- ・保護者連絡
- ・活動計画作成
- ・会場予約、支払い
- ・指導者調整
- ・その他、運営業務

指導する人



- ・練習計画作成
- ・指導、監督
- ・大会引率
- ・参加者とのコミュニケーション
- ・審判
- ・大会運営
- ・その他、指導業務

部活動やクラブ活動には多くの業務が存在

これを、無償のボランティアでお願いすることはできません

誰もが無理をすることなく支えていくため御理解をお願いします



どれくらいの会費になるのか？



活動内容によって変わります。具体的な日数を決めて計算します。

令和3、4年度の実践研究のモデルを例にすると…

指導する人の謝金 1時間あたり約1,600円

運営する人の謝金 1時間あたり約1,600円

例えば、20人が参加するクラブで…



週1回2時間、月5回のクラブ活動

2人の指導者と1人の運営スタッフ

必要経費は月48,000円

このほかに、会場費、用具購入費、大会参加費…

週1回の活動でも、1人あたり月3,000円程度は必要です。



会費を抑えることはできないのか？



少しでも会費を抑えるため、様々な手立てを考えています。

クラブ運営に必要な最低限の経費をもとに会費を考えます。

また、少しでも経費を抑えるために次のようなことを考えています。

- ▶ 会場は基本的に学校施設を使用
- ▶ 学校の備品を有効に活用
- ▶ 種目によっては活動日数を縮減
- ▶ 短時間で効率的な指導を推進

家庭の経済的な事情を理由に、参加をあきらめることがないように支援の在り方を検討していきます。

改革までのスケジュール

Schedule

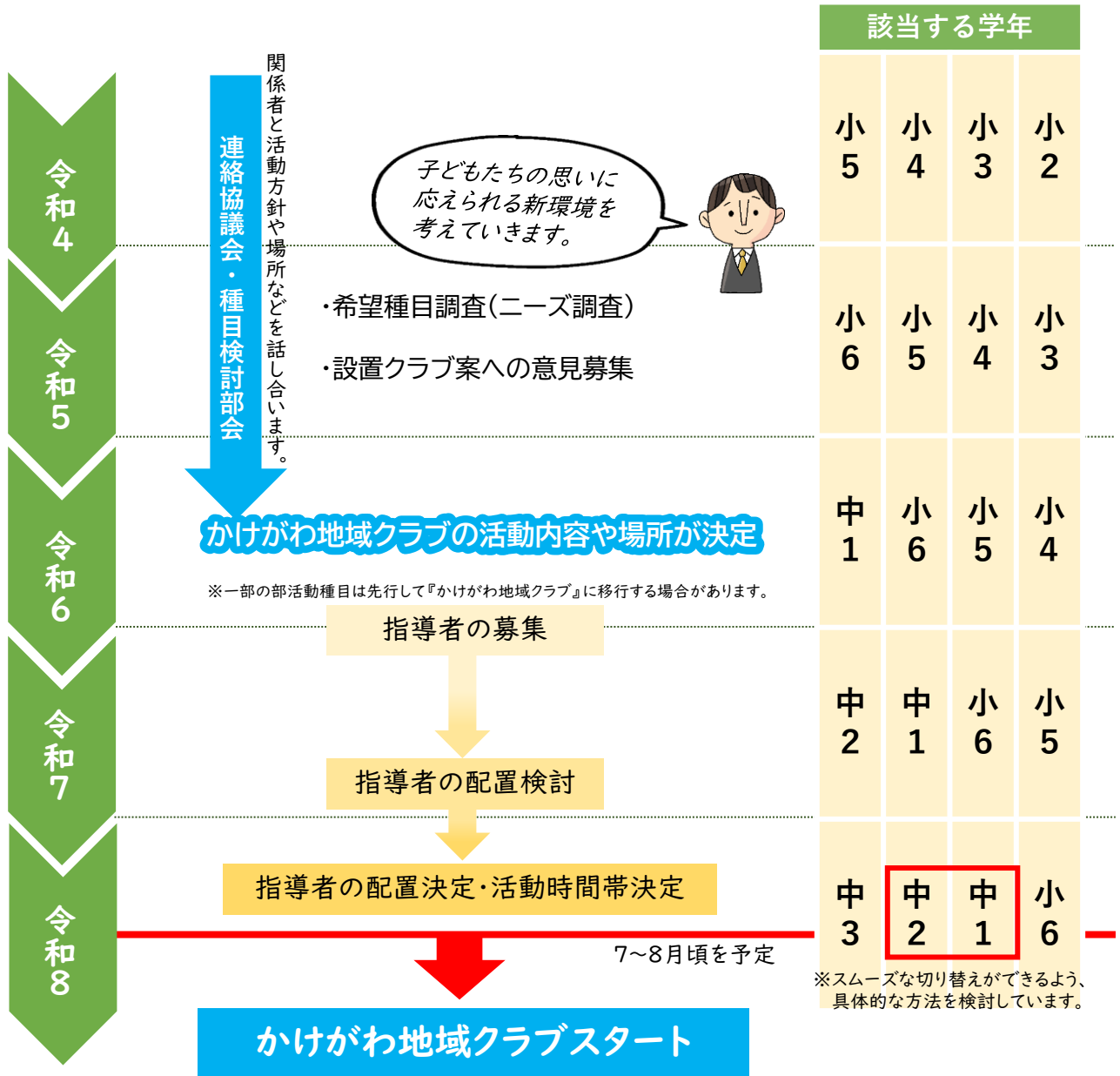
4年間をかけて新たな活動環境を整備します

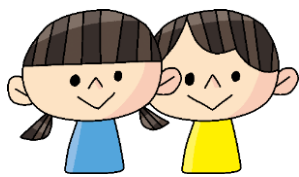
国のスケジュール

令和5～7年度で休日の部活動の地域移行を推進

掛川市のスケジュール

令和8年度に平日と休日の部活動を一体的に改革





みなさんからいただいた質問にお答えします。

Q1

部活動ができなくなってしまう
ということだと思っていました
が違うのですか？

Answer

部活動は必ずしも設置しなければならないものではありません。そのため、教員の働き方改革という視点だけで考えれば、「部活動廃止」とだけ言うこともできます。しかし、子どもたちがスポーツや文化活動に親しむ機会がなくなってしまうことは避けたいです。そこで、部活動に代わる新たな活動環境「かけがわ地域クラブ(仮称)」をしっかりとつくて子どもたちの活動を支えていきたいと思いますというのが、掛川市の方針です。

従来の部活動という形は変わりますが、すべての子どもが文化やスポーツに親しむことのできる地域クラブづくりを進めます。



Q2

新しいクラブの体制に子どもや
保護者の意見は反映されない
の？

Answer

令和5年度は、各種目の検討部会を開催し、それぞれの種目の地域クラブをどこの会場を拠点にして創設するかを考えます。各中学校区の子どもの要望を十分に聞き取って検討を進めますので、アンケートに御協力ください。

4月	第1回検討部会
6月	第2回検討部会
8月	第3回検討部会
10月	第4回検討部会
1月	第5回検討部会
3月	

★希望種目調査
(ニーズ調査)

第1案公開

★意見募集

Q3

今の部活動はどうなってしまう
のですか？

Answer

令和8年夏には終了します。参加している子どもたちが移籍できるよう、掛川市スポーツ協会や掛川市文化財団などに協力していただき、新たな地域クラブの創設を準備しています。しかし、少子化が急激に進んでいますので、参加者が少ない種目は2~3校で1クラブを編成する可能性もあります。

Q4

部活動にはない新しい種目のク
ラブをつくってくれないか？

Answer

要望があれば、積極的にチャレンジしていきます。特に、この2年間のニーズ調査で人気のあったバドミントンやプログラミングについては、すでに地域クラブが複数立ち上がっています。

ぜひ、意見をこちらへ届けてください。1日でも早くに創設できるように努めます。

Q5

放課後にそのまま活動できる
といいんですけど？

Answer

例えば、複数校で1クラブをつくる場合には会場移動が必要です。また、地域指導者も夕方に来れるとは限りません。とはいえ、夜間になると送迎の問題が発生します。週何日も夜間の送迎をするのは大変なことです。保護者の方の意見もうかがいながら、全体のバランスを考えて活動場所や時間帯、日数を設定します。みんなで「大変さ」を少しずつ分け合っ、子どもたちを支える仕組みを考えたいと思います。

Q6

2種目の活動に取り組むこと
はできますか？

Answer

これまでの部活動は入部した種目の活動に毎日のように取り組む形態でした。良い面もたくさんあるのですが、2種目に取り組んだり、気軽に参加することは不向きでした。

令和4年度の調査で、約3人に1人が複数の種目に参加したいということがわかっていますので、種目によっては活動日数をコンパクトにして、複数種目に参加しやすい環境づくりを推進します。

Q7

部活動に入らないと高校入試で
不利になると言われましたが本
当ですか？

Answer

そのようなことはありません。確かに、部活動のように、自分自身を成長させるために一生懸命取り組んだ経験は大切です。しかし、それは部活動だけに限りません。地域クラブの活動や習い事など、様々な経験が生徒のみなさんの力になっているはずです。ぜひ、その経験をアピールしてください。なお、高校入試の際には、書類に部活動や地域クラブ等の実績や活動の様子などを記載する欄がありますが、地域の指導者等に協力をしていただきながら記入をしています。



知ってほしい 部活動のこと

1 部活動の位置づけ 2 持続可能な活動への変革

1 部活動の位置づけ ～部活動って必ず入らなければいけないの？～

部活動の歴史

昭和44年 学習指導要領改訂

平成元年改訂

平成10年改訂

クラブ活動 (教育課程内で実施)

クラブ活動代替時期

クラブ活動廃止

※小学校の時間割の中にあるクラブ活動をイメージしてください。

↓ 部活動をクラブ活動とみなしてOK

部活動 (自主的な課外活動)

部活動
多くの学校が原則加入の流れへ

部活動 (自主的な課外活動)

学習指導要領は国が定めるものです。

各教科の授業など、教育課程の活動とされているものは必ず実施しなければなりません。
それ以外の活動は「課外活動」と呼ばれ、必ずしも実施しなければならないものではありません。



保護者

私たちが中学生の頃は、必ずいずれかの部活動に入りなさいと言われていました。

今も部活動は必ず入らなければいけないものですか？

それで掛川市の部活動は「自由加入制」と言っているんですね。学校が部活動を維持し続けているのはなぜですか？

それは、1990年代、時間割に入れる必要がある教育課程内の「クラブ活動」を教育課程外の「部活動」に置き換えていたからです。

いいえ。部活動は自主的、自発的な参加で行われる課外活動です。

教育的な効果も認められていたこともあり、子どもの活動環境を守るため、学校は今も部活動を維持しています。



2008年改訂

平成20年改訂

クラブ活動廃止

部活動 (自主的な課外活動)

学習指導要領

課外活動ではあるが「学校教育の一環」「教育課程と関連を図る」という位置づけ

一方で、国は「必ずしも教員が担う必要のない業務」とし、国会審議でも「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」ことを指摘

- 約20年前までは、部活動を原則加入としている学校があった
- 現在の部活動の入部は義務ではなく、自由加入制である
- 曖昧な位置づけのために、教員の時間外勤務で支えている現状



2 持続可能な活動への変革 ～学校部活動から地域クラブへの移行～

スポーツ庁

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

令和4年12月

少子化が進展する中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にある。また、必ずしも専門性や意思に関わらず教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中、より一層厳しくなる。

生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するためには、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方に関し速やかに改革に取り組み、生徒や保護者の負担に十分配慮しつつ、持続可能な活動環境を整備する必要がある。

前文より抜粋



保護者

部活動は価値のある活動だと思います。何とか、今の形を維持できないのですか？

確かに、部活動は教育的に大変意義のある活動です。しかし、現在の掛川市の部活動には大きく分けて2つの課題があります。



課題①

子どもたちが自分を取り組みたいことにチャレンジできていないこと

東	栄川
軟式野球	軟式野球
サッカー	
ソフトボール	
男子ソフトテニス	
女子ソフトテニス	
男子バレーボール	
女子バレーボール	女子バレーボール
男子バスケットボール	
女子バスケットボール	
男子卓球	男子卓球
女子卓球	女子卓球
陸上競技	陸上競技
水泳	



保護者

どうして、隣り合う中学校でこれほどの選択肢の差があるのですか？

教員数は学級数で決まります。小さな規模の学校は教員が少ないので部活動数が少なくなります。

それで、これほどにも選択肢に差があるんですね。

はい。昨年度のアンケートでは、小さな規模の中学校区の小学生の約半数が「入りたい種目がない」と答えています。

どの子にもチャレンジできるようにしたいですね。

残念ながら、少子化はさらに進みます。部活動の仕組みではこれ以上選択肢は増やせません。地域クラブの体制であれば、もっと柔軟に設定できます。

美術（共同創作）

文化（総合文化）

吹奏楽

8時

勤務終了時刻
16時30分

16時

火

授業

部活動

授業準備など

土

部活動



保護者

部活動指導は教員の仕事ではないのですか？

つまり、教員が自主的に指導しているということですか？

翌日の授業準備はいつしているのですか？

多くの部活動で、休日にも部活動指導をしていますよね。

練習試合や大会となれば、一日中かかることもありますよね。

これが「ブラック」と呼ばれるようになった理由の一つなのですね。

確かに、部活動を実施する場合は教員の業務となります。しかし、校長は勤務時間以降の指導を教員に命じることはできません。

はい。時間外手当もありませんので、無償ボランティアです。

授業の合間や部活動指導後です。休日に学校へ来て準備している教員もいるようです。若手教員を中心に授業の準備にじっくり取り組めないことに負担を感じているようです。

休日も、本来であれば指導する必要はありませんが、どちらか一日は指導している教員が多いです。

はい。子どもがいる教員は学童や保育園に預けて指導しているようです。

はい。このこともあり、4月には時間外勤務時間の上限が規則化されます。平日の時間外や休日に部活動指導することが難しい状況です。



「公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針」

- ・1カ月の時間外勤務は45時間以内
- ・1年間の時間外勤務は360時間以内

部活動指導だけで、この上限近くまで到達してしまいます。



- 中学校区で選択肢に大きな差、今後でさらに差が拡大することも
- 顧問の未経験者率は上昇傾向。多様なニーズに対応できない
- 現在の部活動は教員の時間外勤務や休日出勤で支えられている
- よりよい授業をするための時間が十分に確保できていない

